

第213回簿記能力検定試験

上級工業簿記 解答速報

問題1

問1

仕損品評価額	{	1,500,000	}	円	③
完成品総合原価	{	83,162,000	}	円	④

予想配点：合計7点

問2

1. 経営目的に関連しない価値の減少
2. 異常な状態を原因とする価値の減少
3. 税法上とくに認められる損金算入項目
4. その他の利益剰余金に課する項目

予想配点：2点×3＝6点

問3

月末仕掛品原価	{	23,972,000	}	円	④
異常仕損費	{	2,127,200	}	円	④
完成品総合原価	{	81,634,800	}	円	④

予想配点：合計12点

問4

月末仕掛品原価	{	24,780,480	}	円	④
異常仕損費	{	1,618,560	}	円	④
完成品総合原価	{	81,334,960	}	円	④

予想配点：合計12点

問5

月末仕掛品原価	{	24,676,800	}	円	③
異常仕損費	{	1,722,600	}	円	③
完成品総合原価	{	81,334,600	}	円	③

予想配点：合計9点

問6

正常仕損の直接材料費は完成品と月末仕掛品の数量の比により、加工費は完成品と月末仕掛品の完成品換算量の比により負担割合が決まっている。

予想配点：6点

- 問題 2
- 問 1 月末仕掛品 [6,000] kg 予想配点： 6 点
- 問 2 月末仕掛品 [5,200] kg 予想配点： 6 点

問題 3

		仕掛品			
月初仕掛品	[②]	63,483,200]	製品	[⑧ 749,680,000]
A材料		218,000,000		月末仕掛品	[⑧ 309,224,000]
B材料	[⑥]	104,624,000]		
加工費		672,796,800			

予想配点：合計 24 点

問題 3

特徴	連産品の原価計算では、通常原価計算のような価値移転的計算ではなく、負担能力主義による計算（価値回収的計算）も認められている。 ⑥
理由	連産品は原価材の投入と産出の因果関係が不明であり、その連結原価の配分を通常原価計算のような価値移転的計算により行う合理性は乏しいため。 ⑥

予想配点：合計 12 点

第213回簿記能力検定試験

上級 原価計算 解答速報

問題1

問1

製品P [2,100] 円/個④ 製品Q [3,000] 円/個④
予想配点：合計8点

問2

製品P [6,000] 個⑤ 製品Q [250] 個⑤
営業利益 [5,020,000] 円③
予想配点：合計13点

問3

製品P [4,500] 個④ 製品Q [2,000] 個④
営業利益 [7,120,000] 円③
予想配点：合計11点

問4

製品P [5,000] 個⑤ 製品Q [2,000] 個⑤
営業利益 [7,250,000] 円③
予想配点：合計13点

問5

リースによりプロセスAの機械作業時間が増加することで、1,500時間あったプロセスBの遊休時間をゼロにでき、その分だけ生産販売量を増やすことができる。その結果として、営業利益が130,000円増加するので、リースにより機械2台を導入すべきである。

予想配点：6点

問題2

問1

〔 変動製造マージン 〕 ②

予想配点：合計2点

問2

損益分岐点売上高 [3,000,000] 千円 ⑥

安全余裕率 [25] % ⑥

予想配点：合計12点

問3

営業外費用と営業外収益は固定費として扱うべきである。 ⑤

その理由： 営業外費用と営業外収益は、営業量と直接的な対応関係はないため。 ⑤

予想配点：合計10点

問4

経営レバレッジ係数 [4] ⑥

計算過程 ②

$$2,400,000 \div 600,000 = 4$$

予想配点：合計8点

問5

営業利益増加額 [240,000] 千円 ⑥

計算過程 ②

$$10\% \times 600,000 \times 4 = 240,000$$

予想配点：合計8点

問6

全経電機の安全性は 改善した ・ 悪化した ・ 不変である。←○で囲むこと。③

その理由： 安全余裕率が25%から約31%に上昇しているため。 ⑥

(別解) 経営レバレッジ係数が4から約3に減少しているため。でも可。

予想配点：合計9点